

 評価のポイント

CL-Ⅲ. ニーズを捉える力（一般）

[20-3] 周産期メンタルヘルス③周産期メンタルヘルスの複雑事例

① Bさんのような予期しない妊娠・出産には、どのような健康の社会的決定要因が背景として存在しているでしょうか

教育背景、未受診、妊娠に気が付かない、健康保険未加入、安定しない居住地、未婚、親からの不適切な養育等がある。

Bさん個人の力だけでは対応しきれない集団の文化や規範によって影響を受ける社会的な構造（収入、教育、職業など）が、健康格差を生むことを理解する。

② Bさんと子どもを巡る問題について説明して下さい

未婚であり、妊娠に気づかず出産に至った経緯から、Bさんが養育意思があるのか、子どもに対する愛着形成の観点から入院中に関わりを通して把握していく必要がある。Bさんが自己決定できるよう支援することが重要であるが、一方で、子どもの観点からは、子どもの安全を守る責務がある。居住環境や健康保険、パートナーの不在や親との不平等、サポート体制がないといった状況は子どもにとって安全とは言い難く、虐待のリスクもはらんでいる。子どもを育てるということはBさん自身の願望だけでは成立せず、子どもの安全も考えた養育環境を整えることが求められている。

③ Bさんの治療およびケアや協働において、看護職が果たす役割について説明して下さい

思いがけない妊娠・出産に至ったBさんという存在は、看護職にとっても動揺することが多い。通常、出産後は育児の手技獲得や母親役割獲得に向けてのケアや指導という役割が看護職にはあるが、Bさんに対しては、通常のケアが提供しにくく、社会的ハイリスクとしてMSW等の関わりの比重が大きくなる。しかし、看護職は、個人の力だけでは対応しきれない状況にあるBさんの動揺を受け止めること、そしてこれまで生き抜いてきたBさんの生活状況を事実として把握することがケアにつながることを理解する。

また、頼れる大人の不在の中で育ってきたBさんの女性役割モデルとなりうることを求められている。さらに、Bさん自身が自分で自分の安全を守れるような支援（性教育等）が出来るであろう。Bさんのニーズに沿った支援を心がけることがその後のBさんのSOSの出しやすさにつながる可能性は高い。